

今連盟だより

創刊号

昭和56年11月

発行 静岡県家庭婦人バレーボール連盟事務局 〒426藤枝市大手1-28-4 電(0546)41-5381

静岡県家庭婦人バレーボール連盟
会長 綾部義彦

広げよう連盟の輪を

やわらか杯

県警察音楽隊の吹奏するマーチに胸を張つて、力強く入場行進する皆さんの姿に接し、各位一人一人の胸中に去来する感激は異なつても、人生にとつてこれほど晴れやかで、無心な心暖まる一瞬はないでしょう。おやじ貴女方バレーボーラーとしての特權である、連盟参加の喜びでもう、年老いた私まで、脈々と胸打つ感動を禁じ得ません。

一つのチームを形成するには大変なことです。然も之を維持し、誰もが理想とする栄光の道は、眞に「ローマは一日にして成らず」と思ひます。

私はお遊びのバーはやうたくない。

厳正な大会を通じ、そこから生れてくる正しいバレーボーラーとしてのほのぼのとした、然もやわらかな感激と感情を希づものであります。

私の願い!!皆さんの力で、もっと連盟参加の輪を広げてもらいたい。

そして、一人でも多くの人々と、ふれ合いを保ちながら、バーを愛する者の喜びを味つてもらいたい。100チームの連盟参加は夢ではない、と私は思つておきます。



この「連盟だより」が常に貴女方の手もとにあつて、斯界の実態を常に把握し自から反省し、研鑽し、明日へ向つて一層の躍進を続けられる指針になるとを、心から切望しておきます。

家庭婦人としてのバレーボールを

静岡県家庭婦人バレーボール連盟
理事長 松井善子

静岡県家庭婦人バレーボール連盟は昭和四十九年六月に結成され、静岡県バレーボール協会の加盟団体として発足と同時に大変お世話を

にならました。

月日がたつのも

早いもので八年間の歳月が流れました。この間に静岡県バレーボール協会

組織でやれるようじと、仕事の面でも、元持の面でも大変心つかいをしていた、だきました。そして昭和五十六年四月、女性だけの組織が誕生しました。県内のバレーボール愛好者の皆様と、の皆様方の暖かいご指導を受け、現

在では、女性の手で暖かみのある連盟を、皆ちゃんと共に育て、行なっていくことを

自主運営ができるようになりました。

又、連盟が歩む中で多く

の関係者の皆様方に、も

大変あたたかく見守り、題が出来ています。静岡県家庭婦人

いた、だき、まして、毎月とつに、有難く思つております。

バレーボール連盟を社会的に価値ある連盟に育て、行くには、バレーボールをする心得と一緒に、団体スポーツとマナー、正しい社会体育とは、仲間づく、そして各種講習会参加、各競技大会への自主運営等を

連盟で勉強する場として正しく身につけ、地域に持ち帰る指導者であります。又、地域に喜ばれる静岡県家庭婦人バレーボール連盟に育て、行くことが大切かと思ひます。そして好みな

バレーボールができる、ことを家庭に感謝をし、ママパンサーを開いて、心と体を鍛え、家庭生活の中で母親として、子供の生活面を見守つて行く、とが大切かと思ひます。

今後共連盟の発展の為、皆様方のキビリ、指導をお願い致します。



全国大会に出場して

○相良クラブ 米山満子

第十二回全国家庭婦人バレーボール大会に参加して、あまりにもスリートに県代表にさせていたたき、戸惑の薄らぐ間もなく全国大会に参加して参りました。

その間、県の先生方、又、連盟の皆様方には、一 方ならぬお世話にならず、先生方にしても、あまりにもよちく歩きの私達が県代表になつたといふことで、私達以上にはうはうしたのではないがと思われます。

とにかく、この榮誉ある全国

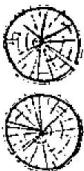
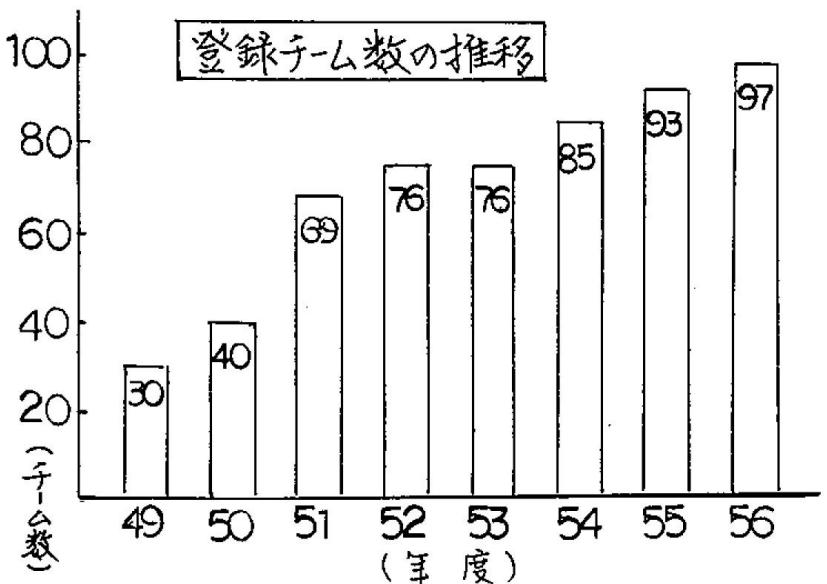
ことは、クラブ員一同感謝いたえません。

これら反省の上に立って、一步一步相良クラブなりのあらみをして参ります。

あの東京体育館での入場行進は何よりの感激でした。全国大会に参 加したのだといふ新たに感激を胸に、

目がさうがあつくなるような気持で行進しました。そして親善試合の審判試令入場による行進と、緊張の連続でした。

私達なりに力の限り頑張つたつもですが、結果としては、私達の未熟さを改めて痛感せられました。力の差はそれほどに感じられませんでしたが精神面において、どのチームより未熟だつたと思します。参加チームの中で一番若いとされ、又、経験年数が最も浅く、若手がいのが悪いのが判ります。せんが、最も悪い面を出されてました。感



第5回さわやか杯特集

さわやか杯争奪 静岡県家庭婦人バレーボール大会

予選・七月二十九日、東、中、西、各地で会場、69チーム参加
県大会・九月六日、県営草薙体育館、各地区代表のチームが集まつ。Aグループ 6チーム、Bグループ 9チーム、Cグループ 12チームに別れて熱戦が繰りひろげられた。ユニットが大会にさう、年年参加チームが増えておうます。初参加チーム、各グループ優勝チームに、それぞれ感想を寄せていた。
だきまーた。



◆初めて参加しました◆

Cグループ
▼松風クラブ（沼津市）

結成して四年、今まで沼津市内の大会のみ出場していました。

Cグループ
▼四又バレー（岡部町）

一回戦で敗退し練習不足で残念でした。試合なれかしていなさいか、

う始めた人達が多く、良い勉強になりました。

◆初参加で地区優勝しました◆
Cグループ

▼鷹鷹クラブ（沼津市）

大会に初参加し、優勝できてうれしく思います。決勝戦では、あがらず自分達の力が出しきれ、それが優勝につながったと思います。

今回の大會は、チーム数も多く、会場も広いので零国氣にのまれてしまい、実力が出せない、うちに終つてしまつた感じです。

Cグループ
▼ファイターズ

（岡部町）

来年も是非参加したいと思つております。

学生時代にやつていた人は二人しかなく、あとの人達は三才が三才後半が



Cグループ

▼藤岡ドンゲリズ（藤枝市）

最近、優勝に縁が遠かつたせいか
信じられないような気持で、でも「スカッ」と
とややかな嬉しさで、ついほいです。
とにかく当日は都合の悪い人が多く
選手数ギリギリで、一回戦でも勝て
たらという望みで、二回戦、決
勝戦と進み、決勝戦はジースト
と得点が重なり、粘り強く最後まで
よく戦つた。と皆で満足しています。

Cグループ

（浜松市）

Bグループ

▼旭クラブ（御殿場市）

雨編成にて二年目を前に、おもいが
けず優勝して大変うれしい。今まで
はがむしゃらに進んで、だが、これから
は技術面、精神面でもっと強くなる
たい。



◆地区大会で優勝しました

常時出場チーム◆

Aグループ

▼函南フライ（函南町）

今大会は調子がよくなかったので、
県大会では頑張つて是非好成績をお
さやたいと思います。

Aグループ

▼袖師シースカイ（清水市）

苦しい試合の連続で、ただ、ただ
ただチームワークで頑張つました。
ほんとうにうれしいです。



優勝してからもう感激が薄かったです。

★ やわやか杯県大会に優勝しました ★

Aグループ

▼ 浜松西クラブ (浜松市)

心と体を鍛え、精神面で自分自身がお互いが厳しくすることをモットーに、いつも練習に励んでいます。その成果がやわやか杯において発揮でき、まずは、大変素晴らしいことで、一戦一戦を大事に試合する中で、若しい試合になると力が燃えでき、ます。そんな時、いつも練習している、やがて勝てた喜びをしみじみとかみしめています。

Bグループ

▼ 清水西クラブ (清水市)

一般女子でやつていなかはじめて家庭婦入の方へ出させていたが、

家庭婦人のレベルが高いのに感心した。

Bグループもレベルが高く、ネバリのチームが多く勉強に学んだ。

初心者もいるが、学生時代六人制をやっていたので、九人制オーバーパスの良さを勉強して行きたい。

二人もメンバーを欠き、優勝できるとは思つても見ながつたので、とてもうれしい。捨て身の戦法でいつたのが良かったと思ふ。これからも頑張ります。

Cグループ

▼ メイド (富士宮市)

結成四年、皮ボールに転向して二年目、初参加なのにCグループ優勝という予想もつかない好成績をあげられて大変うれしいです。(地区予選)

▼ 中部地区

櫟地房枝

● 第五回やわやか杯争奪静岡県家庭婦人バレーボール大会中部地区予選が藤枝市立藤枝小学校体育館にて行なわれた。三〇度を越す暑さの中、A.B.Cグループに別れて熱戦が繰りひろげられた。手ごとにレベルが向上し、甲乙つけがたいチームの出場となつて、どのチームも見ごたえのある試合が展開されたが、その反面、記録、線審を各チームもう少し勉強する必要を感じました。

● 西部地区については井野口弘子が取材しました。

▼ 東部地区

蛭海市子

● ランサルの大会といふことで思いました。て参加に踏みきつたので、さうが、初出場のチームが良いチー

ムばかりなのに驚きました。各グループとともに、県大会への道が開かれているためかどのコートも熱戦につぐ熱戦でした。暑さの中で試合に集中しようと落ちる汗に、やわやかで健康な主婦の姿を見た思いです。



つたようなところもあつたので、来年はもっと元気をつけて出場し、頑張りたいと思います。

決勝戦は、初めて田舎へ出ての試合で不安だったが、思いがけなく優勝でき、うれしかった。

みなさん▼
の原稿をお待ちしてお
ります。



募集

話題

◆決勝戦の始まる前日に、ラインズマンの一人が笑いながら主審に云つた。

「木工、私が旗を振つたらニッコリうなづいてよ木、それが旗振りのやう甲斐でいうかんやから。」

試合が進行する。ラインズマンが合図を送る。

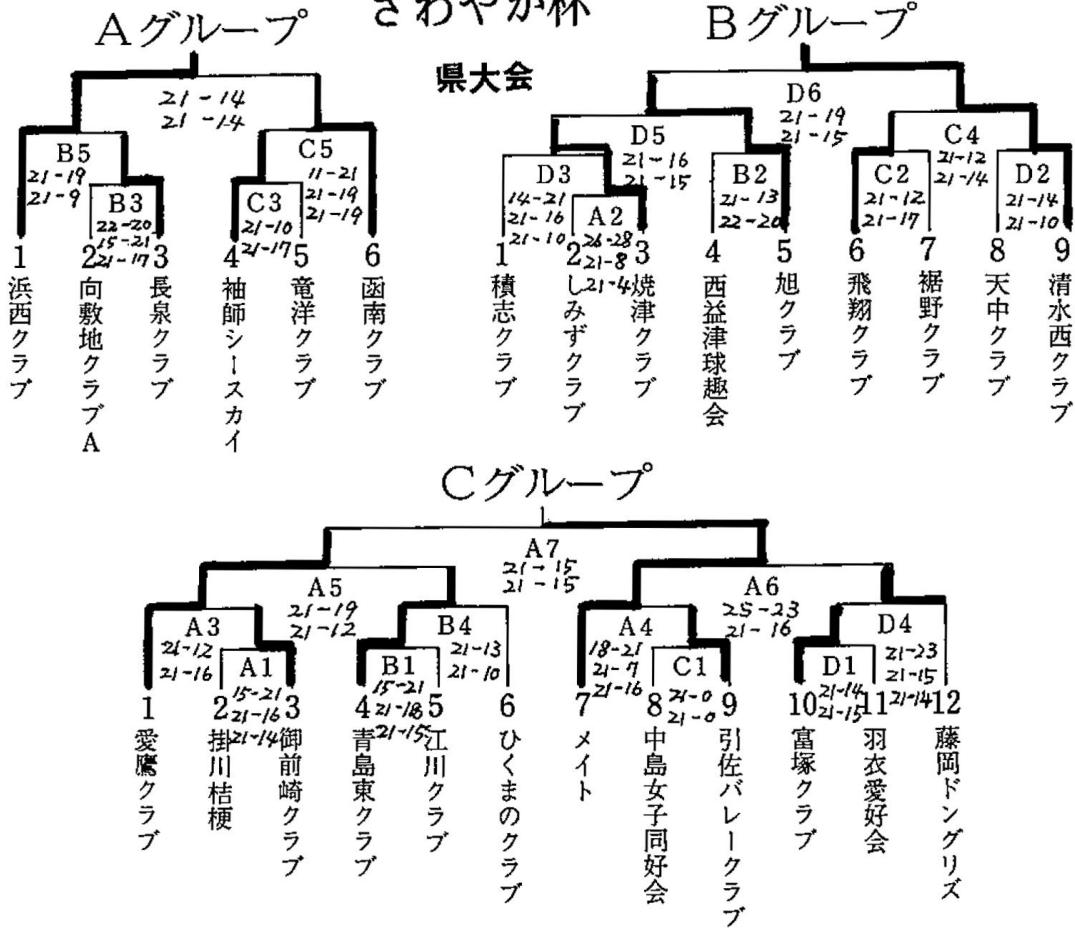
「ウン、判つた。OKヨ!!」コートに信赖感が行き交つた。

『主審はかうが審判じやあない!! もん木、

◆決勝戦の審判を役員でやることになり、最後にモップ役が残つた。

家の掃除もろくにしないのに、朝早くからバーに行つてモップを持ち、右往左往しているところがテレビにバッチリじゃあ家人に合せる顔がない。気は進まないが、エイ!! この際だ、頑張つちやううー。

さわやか杯



静岡県家庭婦人バレーボール

選手権大会

優勝	浜松西クラブ
準優勝	焼津クラブ
第三位	袖師シースカイ
第四位	函南クラブ

十月十一日(日) 藤枝市民体育館において東、中、西、各地区八チームの代表チームが集まり、選手権大会が開かれました。

出場チーム、実力伯仲。各チームのベンチは勿論のこと、観戦している人達まで、手に汗を握るほどの好試合の連続で、見ごたえのある大会となりました。

惜しくも敗れたチームの人達があとの試合を観戦しながら、試合マナー、ゲーム運び、攻撃、レシーブのフォーメーション等を勉強して

いる姿を見受け、感心させられました。ママさんバレーは競技志向に走ることとは成らるべきことですが、より高くて、より上を目指して研究へとがんばり努力していく心掛けは大切なことだと思います。

連盟に登録したことによつて得る多くのメリットをチームの一人一人が自分の糧にしていければチームの練習日及び各大会こそ意義あるものになると思ひます。

「東海家庭婦人バレーボール
選手権大会(十月十八日)

三重県桑名市体育館において行なわれた浜松西クラブ、焼津クラブが県代表として出場しました。

成績は次の通りです。

浜松西クラブ 第三位、焼津クラブ

は一回戦で惜敗しました。



創刊号は皆さんのご協力でさわやか杯を中心記事を寄せていただき、ありがとうございました。

後記

本年度登録チーム数

九十七ぐの連盟となりました。発足以来、連盟を育てて下さった各会長様や、県協会家庭婦人担当の諸先生方、および県協会の皆様方の親身なるご指導と、まことに苦労があり、各大会こそ意義あるものになりました。今後の登録チームの着実な増加に繋がる、家庭婦人による連盟の自主運営に結いついたものと感謝の念がひとしおでございます。

第一回の発刊では、ユニット広報紙としての役目が果たせるか未だ未だ紙としての役目が果たせるか未知数でござりますが、内容につきましては、ママさんバレーの基本理念を常に認識しながら更に理解を深め、皆様方の日頃の悩みや疑問点等について、皆様の声の広場として交流を深めるための連盟だからといって、たいと感じます。

事務局